

# ケアマネ かわら版

2017年  
8月号

Vol.53

松江地域介護支援専門員協会

事務局:〒690-0044  
松江市浜乃木2丁目15-32  
ゆめ福居宅介護支援事業所(内)  
TEL(0852)61-6900  
FAX(0852)61-6902  
E-mail:matsue-cm-kyoukai@marufuku.co.jp

## 平成29年度 総会を終えて ～キーワードは連携～

松江地域介護支援専門員協会 副会長 松 森 百合江

平成29年度松江地域介護支援専門員協会総会を去る5月20日(土)に開催しました。来賓として、松江市医師会理事 貴谷光先生、松江市歯科医師会会長 野坂裕先生、松江市健康福祉部次長 湯町信夫氏に祝辞をいただき、多職種連携の重要性や今年度から始まる新しい事業に対するケアマネジャーへの期待の言葉をいただきました。地域包括ケアシステムの構築に向けケアマネジャーの役割の重要性を再認識するとともに、期待にこたえるにはどうすべきかを考える機会になりました。



総会後は、今年度新しく設置された「松江市在宅医療・介護連携支援センター」について松江市社会福祉協議会 角知子氏よりセンターの設置目的や業務内容の紹介をいただき、私たちケアマネジャーとの意見交換や協力が不可欠であるとの話を受け高齢者を支える強い味方が一つ増えたようでとても心強く感じました。



小林 央氏 嘉田 将典氏 古瀬 央弥 氏

総会研修では、作業療法士会 小林央氏、理学療法士会 嘉田将典氏、言語聴覚士会 古瀬央弥氏から、それぞれの専門職が関わることで、どのような変化があるのかを事例を交えながらわかりやすく講義していただきました。また、当日講師を派遣いただいた3職種で構成される「県リハビリテーション専門職協議会」の設立目的の情報も頂き、ケアマネジャーとつながりたい。声を気軽にかけてほしい。ともに地域を元気にしていきたいとの思いを知ることができました。研修が終わるころには、連携するならまずは声を発することだな…と独り言を言っている自分に気づきました。当たり前のことだけど、誰かが声を発することでつながっていくものだとしたら、私はケアマネジャーからどんどん発していくべきだと今回の研修を終えて思いました。みんなつながりたい気持ちを持っているのだから。

さあ、総会も終わり今年度もスタートしました。また新たな気持ちでたくさんの出会いやたくさんの経験が待っていると思うとわくわくしませんか?忙しい毎日の中にも楽しみを見つけられる自分でいたいと思っています。

# ◆◆◆ 松江市の地域ケア会議をご紹介します ◆◆◆

松江市社会福祉協議会

平素は、松江市社会福祉協議会、地域包括支援センター事業、在宅医療・介護連携支援センター事業に対しまして、ご理解、ご協力、ご指導を賜りまして誠にありがとうございます。では、地域ケア会議について説明します。

## ★地域ケア会議とは何か

地域ケア会議は、高齢者等の地域の人々や介護支援専門員等の専門職の声を地域包括ケアの推進に活かし、地域の実態に合った地域包括ケアシステムという体制の整備と高齢者個人に対する支援の充実を進めるための一つの手法(ツール)です。

## ★地域ケア会議の種類(厚生労働省「地域包括支援センターの設置運営について」より抜粋)

地域ケア会議には、①包括が開催する個別の事例について検討する『地域ケア個別会議』と、②松江市が開催する個別事例の検討等から明らかになった地域の課題等への対応を検討する『地域ケア推進会議』があります。

## ★地域ケア会議の目的(厚生労働省「地域包括支援センターの設置運営について」より抜粋)

『地域ケア個別会議』は、高齢者等個人の課題への対応を、本人や家族、介護支援専門員、保健・医療の専門職、福祉の専門職、民生児童委員、自治会長、行政職員等の参加によって、多様な視点から検討することで、高齢者等の地域におけるその人らしい生活の継続を支援します。このような検討を通して、①介護支援専門員等による自立支援に資するケアマネジメントの質を高めることや②高齢者等の実態把握及び地域包括支援ネットワークの構築、③個別の事例検討では解決できない地域の高齢者に普遍的に該当する課題等を把握することを目的としています。

『地域ケア推進会議』は、地域づくり、①資源開発ならびに②政策形成等、地域の実情に応じて必要と認められる事項について検討します。松江市では、松江市高齢者福祉計画・介

地域包括ケア推進課 課長 湯 浅 佳 代

護保険事業計画推進委員会に位置付けられています。松江地域介護支援専門員協会からは岡田会長が委員としてご参加頂いています。昨年9月に開催された第1回地域ケア推進会議に、個別事例検討や包括の総合相談から見えてきた地域課題について報告をしました。

## ★松江市の地域包括支援センターの取り組み

平成27年度に松江市と協議し松江市独自の「地域ケア会議マニュアル」を作成し、平成28年度からは、これに基づき事例の選定、会議の運営方法、記録等を統一し開催しています。

各包括が隨時開催している『地域ケア個別会議』は、主には「支援者(介護支援専門員や地域住民等)が困難と感じている事例」、「必要な支援につながってない事例、権利擁護が必要な事例」、「支援体制にネットワークが必要な事例」いわゆる困難事例について、関係者に参加して頂き検討しています。昨年度、62回開催し49事例を検討しました。

今年度から居宅介護支援事業所の介護支援専門員の皆様にも事例提出をお願いしている『包括合同地域ケア個別会議』は、困難事例ではなくて、介護支援専門員のケアマネジメント力の向上を目的に、要支援の状態像等よくある事例について介護予防・自立支援を目指した検討を行います。その為、訪問看護師・薬剤師・リハビリのセラピスト、歯科衛生士、管理栄養士、主任介護支援専門員、臨床心理士、行政保健師、市社協のコミュニティーソーシャルワーカーの専門職に助言者として参加して頂いています。昨年度、4回開催し12事例を検討しましたが、助言を受けたことがどうケアプランに反映され、高齢者の状況や生活等がどう変わったかを評価する機会がありました。今年度は、6月中旬・松南第1、8月松北・松南第2、12月湖南・松東エリアの事例検討を行い、来年2



地域ケア会議マニュアル

真  
明るい  
ありがたい

心 で介護をお手伝いする

Joy・Care

福祉用具レンタル・販売・住宅改修

ジョイ・ケア たいよう松江店

介護保険事業者番号 3270103090  
〒699-0408 松江市宍道町昭和22  
TEL 0852-67-3291  
FAX 0852-67-3292



## えだクリニック 訪問リハビリ



経験豊富なPT・OT・ST在籍  
お気軽にご相談を!  
(特に言語・嚥下リハビリにオススメです!)

えだクリニック松江サテライト  
住所:松江市西尾町487-1 エテルノ303号室  
TEL:080-2904-2037(松江担当:石川)

月に評価会議を設定し、6月と8月に検討した事例のその後を報告していただく機会を設けています。

大勢の専門職の前に自分の事例を提出することはとても勇気がいることだと思います。しかし、事例の状態像を共有するための質問から、高齢者の心身・活動・社会参加の状況や生活全般等の高齢者を取り巻く環境のアセスメントの視点等に気づきや、介護予防や自立支援に向けた目標設定、目標の達成に向けたアプローチ・支援方法のヒント等得るものも沢山あります。また、最初の事例紹介の前に「支援内容を否定・非難しない」「誰かを責める会にしない」等といったグランドルールを全員で読み上げてから開始するので、安心して事例を提出してください。また、見学者として参加してもとても勉強になので事業所が所属されているエリアの会議の案内が届きましたら、是非ご参加ください。

包括エリア特有の地域課題については、『地区地域ケア会議』として、公民館、地区社協、民生児童委員、福祉推進員、自治会長、消防団、警察等関係機関に集まって頂き開催しています。昨年度は、高齢者の外出支援をテーマに検討し、階段が

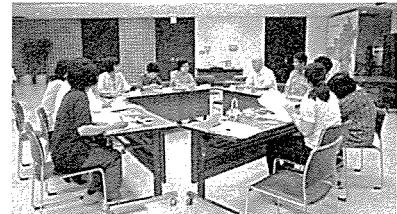
多い海岸端の地域の避難訓練につながった事例もあります。

10月には、講師をお招きして地域ケア会議をテーマに公開講座を予定しています。近づきましたら一斉メールで事業所の皆様にお知らせしますので、是非、ご参加ください。

#### ★おわりに

松江市の高齢者の皆様が、安心して暮らせる地域づくりを目指して、包括の職員も先進地の情報収集や視察、伝達研修を行い、よりよい会議運営や地域課題の見える化ができるように試行錯誤しながら、日々取り組んでいます。まだまだ至らぬ点は多々あり、関係機関の皆様、指導よろしくお願いします。

また、専門職の職能団体の皆様には、お忙しい中調整し会員の皆様を派遣して頂き、この場をおかりして感謝を申し上げます。



地域ケア会議の様子

◆ ◆ ◆ 地域ケア会議に参加して感じた事 ◆ ◆ ◆

今年度からの地域ケア会議に6月15日は見学、16日は主任介護支援専門員として参加しました。

地域の課題解決に向けて多職種で話し合う事は介護支援専門員としての目線だけでなく利用者やそれを取り巻く家族に対して専門職からの気づきを学びました。

残念だった事は1事例の検討時間が45分と決めておりましたが最初に検討した事例に時間をさかれ最後の3事例目になるとさらっと終わってしまった事でした。

今後、地域ケア会議が多くの地域で気軽に開催できる体制になり、介護支援専門員は自分の目で見たこと、確認した事をきちんとアセスメントして参加できればもっと地域の課題が見えてくると期待できました

在宅療養支援センター あんしん 小原 央子



今後ますます介護支援専門員の役割は重要であると言われており、その責任を感じる一方で、どのようにアドバイスをしたらよいのか戸惑いもありました。

地域包括ケア実現のため、個別ケースについて様々な分野の専門家の視点から検討を行うことにより、問題解決策を見出していく過程はとても重要であり、自立支援や気づきを促していくことへの必要性を再確認しました。

課題はありますが、地域ケア会議への積極的な参加により、着実に地域作りや地域包括システムの構築に繋がってほしいと思います。

また、地域包括支援センターの皆様や専門家の先生方の熱意や、思いやりを感じた地域ケア会議でした。参加させていただきありがとうございました。

生協のぞみ在宅支援センター 平塚 房代

福祉用具レンタル・販売・住宅改修

フィット  
**Fit up** アップ

介護保険事業者番号 3270103058

株式会社 かすみコーポレーション フィットアップ  
〒690-2103 島根県松江市八雲町西岩坂329-1  
TEL:0852-67-3323 FAX:0852-67-6390

サービス付き高齢者向け住宅  
**花きりんハウス 東出雲**



現場力 !!

〒699-0111 松江市東出雲町意宇南5-4-1  
TEL: 0852-67-5010 FAX: 0852-67-5011  
ホームページ: <http://hanakirin.net>

# 松江地域介護支援専門員協会、 松江圏域老人福祉協議会合同研修に参加して

小規模多機能型居宅介護 あさひ乃苑 岡本 千佳

前半は「介護予防・日常生活支援総合事業」「認知症初期集中支援チームの設置」「松江市まめなかポイント」「松江市在宅医療介護連携支援センター事業」「鹿島病院の地域包括ケア病棟設置」についての説明を受けました。どれもみんなが施設も含め住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるよう考えられており、しっかりと地域の体制が構築されてきていると感じました。中でも「まめなかポイント制度」は65歳以上の方の生きがい・健康づくりに、そして施設においても人手不足の緩和に役立ち、高齢者のみならず地域全体が活性化していくようにも感じました。まだまだスタートして間もないですが、期待しています。

後半は連携においての個人ワーク、グループワークを行いました。

私達のグループは居宅・小規模多機能・特養・行政の方合計7名でした。病院との連携については、おおむね以前に比スマーズに出来るようになったとの意見でしたが、その中でも病院の相談員と連携をとっていても、病院の相談員の知らない間に病棟で急に退院が決まってしまい調整に苦慮したという話もありました。また、病院側も在宅に帰るとなると慎重だが、施設からの入院の場合は「元の施設に帰るのが当たり前」のところもあり、連絡しても経過が十分に分からなかったり、急に退院の連絡があるなど困ることが未だあるとのことでした。

今回のグループワークで初めて顔を合わせる方もありましたが、グループワークで居宅・小規模・特養で色々な情報を共有することが出来ました。同じグループになった方とは、今後もスマーズに連携が取れるような気がします。病院・在宅・施設とも連携は積極的に連絡を取り合うこと。そのためにはまずは顔見知りになることが一番だと改めて感じました。これからも、このような研修に積極的に参加し顔見知りを増やし、担当している方の為にも連携強化に努めていけたらと思います。



株式会社 原商

スマイルケア

福祉用具のレンタル・販売・住宅改修

宍道事業所

松江市宍道町白石81-10  
TEL 0852-66-3900



在宅療養支援センター あんしん 福田 和博

前半は、①総合支援事業 ②認知症初期集中支援チーム ③まめなかポイント ④松江市在宅医療介護連携支援センターの事業 ⑤鹿島病院の地域包括ケア病棟の設置等、5つの情報提供がありました。

後半は、病院↔居宅、居宅↔施設、病院↔施設間の連携等で互いに知りたいこと、困っている事等、個別ワーク⇒グループワークを通して意見交換しました。

個別ワークの中では、「先生との連携が上手く図れない。」「在院日数の短縮化で調整が大変。」等の声が挙がっていました。

この声に対し、グループワークの中で「医師とケアマネ連絡票を活かしたら?」「入院と同時に病院の相談員に声を掛けるとスムーズにいくよ!」と言ったアドバイスを受け「明日、いや今日から実践してみます。」と言ったポジティブな発言も聞かれていました。

病院、居宅、施設とそれぞれ役割は異なりますが、互いにその専門性を理解し、チームとして多職種で関わる事の大切さを改めて感じました。

今、地域包括ケアシステムの構築に向けて、整備が進んでいます。

我々、ケアマネジャーは、ご本人から色々な事を教わる姿勢を大切にし、その一人一人の声を他機関や地域住民に届け、巻き込み、一緒に考えていかなければならないと思います。

今後も研修会を開催し、「意見交換⇒顔の見える関係⇒相談しやすい事業所」となる事を望んでいます。



## らくらくタイコー

福祉用具レンタル・販売・住宅改修  
セーフティホーム 24

松江市北田町 63 番地 4

TEL 0852-22-3553 FAX 0852-22-3555

働くあなたを支援! 困ったときのお手伝いサービス



## お洗濯代行サービス

在宅・病院  
介護施設

ご自宅・病院・介護施設へ取りに伺います!

アイカム 株式会社 0120-137-656

松江市東長江町902-53

NEW  
FACE

# 新任役員挨拶



松南第2地域包括支援センター

小豆澤 和子



この度、ケアマネ協会の役員をさせて頂くことになりました松南第2地域包括支援センターの小豆澤和子です。

ケアマネジャーの役割が大きくとても大切なものになっています。会員の皆様と信頼して頂けるケアマネジャーをめざしスキルアップをしていきたいと思っています。少しでもお役に立てるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

松江記念病院

春木 みつ代



この度、松江地域ケアマネ協会の研修部を担当させていただくことになりました、春木みつ代です。

「五十にして天命を知る」という言葉がありますがその年頃に早くもなってしました。

これから先の自分の人生、そして仕事をどう極めるかと考え中でもあります。今回、ケアマネ協会の役員として今までの経験が少しでも、利用者、家族、ケアマネの皆様他職種の皆様のお役に立てればと微力ではありますが努めて行きたいと思っていますので宜しくお願い致します。

JAしまねくにびき介護相談センター

井上 理恵



今年度より事務局を担当いたします井上理恵と申します。

ケアマネ業務に就き、やっと1年…まだまだ余裕のない私ですが、私自身も日々勉強をしながら少しでも皆様のお力になれるよう頑張っていきたいと思います。

宜しくお願いいたします。

# ケアショップ やまと

有限会社 山本総合 福祉サービス事業部

〒690-0021 松江市矢田町36-1

TEL 0852-24-3563 FAX 0852-69-2096

福祉用具の  
レンタル  
販売  
住宅改修



全国介護タクシー協会会員

介護タクシー

# ほのか

病院や施設、お買い物の送迎に御電話お待ちしています。

〒699-0203

島根県松江市玉湯町布志名637-96

TEL 0852-62-2206 FAX 0852-62-2306



## ケアマネ協会 各部署からの抱負

研修部 貝谷 昭

ケアマネ協会主催研修に昨年度も多数ご参加いただき、有難うございました。

今年度は以前からの継続である老施協との合同研修を皮切りに、日本赤十字との合同研修、認知症をテーマでの地域ケアマネジメント研修、介護予防総合事業研修などを予定しています。

この4月から開始された介護予防総合事業でも、皆様まだまだ手探り状態での業務が続いているのではないかと思います。さらに来年度は介護保険だけでなく、診療報酬、障がい者総合支援法も改定が行われ、医療・介護・福祉を一体的に広い視野を持って理解することが必要になってくると思われます。

そういう状況の中で「ケアマネジメントの質の向上」を念頭に会員の皆様の自己研鑽の場としての研修機会が持てるよう活動していくたいと思います。

制度調査部 稲田 政雄

制度調査部では、会員の有益となるようニーズ及び現状を把握し、多職種・他委員会と連携を図りネットワーク作りを行います。

- ・「行政との意見交換会」を開催して、会員の皆さんの意見を発信する機会を設けます。
  - ・「医師とケアマネジャーの合同研修会」を開催して、医師との連携を強化します。
  - ・今年度は新たに「歯科医師とケアマネジャーの連絡票」の作成を行い、歯科医師との連携を強化します。

主な取り組みは上記の通りです。皆さんのご意見を聞きながら活動を進めて行きますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局 山崎 裕美

事務局では会員の皆様がケアマネジャーとしての業務を円滑に行えるような協会運営を各部と連携を図りながら行って参ります。また、会員同士が楽しく交流・勉強できるような協会を目指してサポートしていきます。

- ・会員証の発行
  - ・ホームページの管理
  - ・タイムリーな情報の発信
  - ・県協会、全国協会との連携
  - ・行政、医師会を始めとする関係機関との連携強化

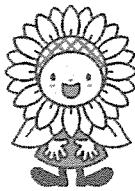
昨年より見直しを行った会員証も二年目となりました。会員証の活用によりケアマネジャーとしての意識を高めていただけたのではないかでしょうか。今後も工夫を重ねながら運営を行って参ります。

広報部 森脇あゆみ

広報部では、活躍するケアマネジャーの皆様へケアマネ協会の活動や情報提供を行います。

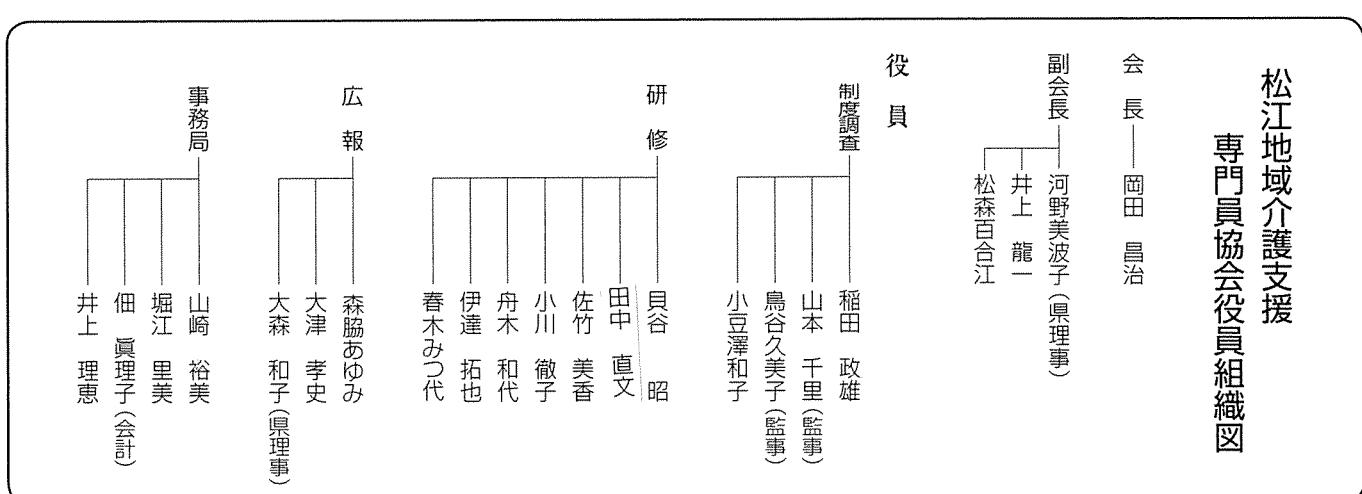
- ・広報誌(ケアマネかわら版)発行(年3回)
  - ・ホームページによる情報提供
  - ・Facebookを気まぐれに更新

多職種、地域住民、その他多くの方々とケアマネジャーが繋がることに加え、ケアマネジャーが地域で役割を果たしていくよう、広報活動を通じて発信していければと思います。



松江地域介護支援

専門員協会役員組織圖



編集後記

厳しい暑さが続く中、ご利用者様の脱水や熱中症の心配もあり生活全般に関わるケアマネとして気苦労も多かった 夏だったと思います。

今回は少し硬いお話になります。

平成29年7月19日に社会保障審議会が開催されました。そこでこの提案をもとにした論点は次の4つです。

## ①居宅介護支援事業所における人材育成のための管理者のあり方について

- ②特定事業所集中減算と利用者や家族に対する説明同意のプロセスについて
  - ③医療機関と居宅介護支援事業所との更なる連携について
  - ④末期の悪性腫瘍の患者に係るケアマネジメントについて  
　　目の前の利用者さん一人一人を大切にしながらも全体として国の動きも把握していくなければならないと思います。  
　　かわら版も皆様への情報発信をより一層頑張ります。夏の疲れが出ないように気をつけましょう!